平成24年2月22日　発行

中村設計新聞

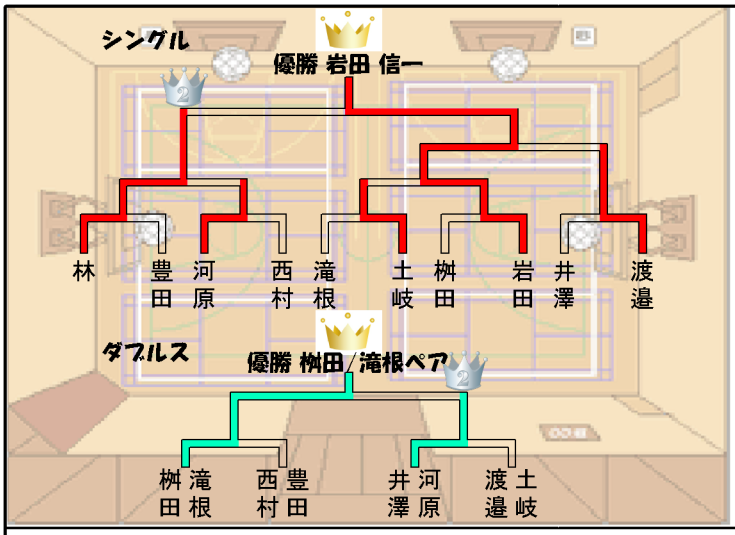
第二十六号
一月二十一日(土)雨
1月の土曜研修では伏見東部地域体育館に行き中村設計バドミントン大会を開催しました。

○はじめに

今月の研修はオリンピック種目の一つでもあるバドミントンをするために伏見東部地域体育館に行き、トーナメント大会をしました。

中村設計オリンピックバドミントン大会と称し、トーナメント方式でシングルとダブルスの試合をしました。

白熱の試合を制し、見事、大会の頂点に立ったのは一体誰だったのか！大会結果を発表します。



○レポート①『シングル優勝！』

適度な運動は必要である。しかしながら急激な運動は苦しみとなる事もある。今回のバドミントン大会は、さてどちらなのか。

事務所のレクリエーション企画が過激な運動であるはずはなく、どちらかと言えば軽度な運動のはずである。しかし、日頃運動もせず、準備不足で挑んでいるものからすれば必死である。

まして、なぜかトーナメント形式で勝ち進み、三連続で計四戦も戦えば、急激な運動間違いなしです。運動不足であることを棚に上げ、全身の筋肉痛に悲鳴を上げていることの言い訳をしています。

個人優勝を喜ぶ余裕もなく、誰が勝ったのかさえわからないくらいフロアーに倒れ込む自分自身に少し呆れてしまいました。日頃からもう少し運動しよう。

○レポート　岩田　信一

○レポート②『ダブルス優勝！』

一月の土曜研修会はバドミントン大会でした。『バドミントンをするだけ』という安易な考えで当日いざ体育館へ。

開始五分程度過ぎた時点で、おや？何かへんだぞ？？と違和感を感じ始めました。

その後試合を続ければ続けるほど、だんだんと違和感が大きくなってきました。そうです！違和感とは、自分自身の体が思うように動かないのです。学生時代からスポーツをしていた私にとって受け入れがたいことでした。

今まで、頭の中では年齢に比例して、体力の低下は理解していたつもりでしたが、予想以上の体力の衰えを痛感した一日でありました。今後は、体力が低下するのが『当然』では済まさず、現状の体力を『維持』できるよう心掛けたいと感じた土曜研修会でした。

○レポート　桝田　武典

○まとめ

普段見ることができない所員の一面を見ることができた試合でした。

所員が選ぶ名試合はシングル決勝戦の岩田　対　林の試合でした。そして名プレイヤーは、土曜研修員の組み合わせミスで決勝戦まで３試合連続試合となりながらも優勝した岩田さんでした。

所員に今後やってみたいスポーツを聞いたところ、卓球やバレーの他に合気道・弓道・アーチェリー・ゲートボール等さまざまな意見がありました。

日頃、体を動かしていないことを痛感する一日となりましたが、バドミントンを通じてスポーツの楽しさ・体を動かすことの大切さを改めて実感することができました。

○バドミントンクイズ

バドミントンに関するクイズです。さてさて、分かるでしょうか？

問題①
バトミントンの羽が打たれた瞬間の初速は全球技中最速でギネスブックにも登録されています。
では、その初速は一体時速何キロメートルでしょう？

問題②
バドミントンのシャトルの羽根の枚数は何枚でしょう

正解はこちらをご覧ください←

問題①（四〇〇キロ）　問題②（十六枚）